

Title	日中合弁企業の業績の決定要因
Sub Title	
Author	楫取卓(Kachitori, Takashi) 姉川知史
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1994
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1994年度経営学 第1073号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1073

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

楯取 卓

主査 姉川 知史

副査 関谷 章

鈴木 貞彦

所属

姉川 知史 研究室

日本合弁企業の業績の決定要因

本論文では、日中合弁企業は販売量の増大、販売価格の値上げ、原材料現地調達比率のアップ、取引費用の削減によって、通貨切下げ（人民元の切下げ）による、経済上のエクスポージャー、すなわち、合弁企業の事業活動から発生する予測キャッシュフローの正味現在価値が為替レートの予期されない変動のために受けるマイナスの影響を最小化することができるということを明らかにする。

そして、中国側、ヨレートの予期されない変動のために受けるマイナスの影響を最小化することができるということを明らかにする。そして、中国側のパートナーが同業者であると、販売量が増大し、原材料現地調達比率が高くなり、取引費用が削減されること、ライバル企業のなかで1番売量が増大し、原材料現地調達比率が高くなり、取引費用が削減されること、ライバル企業のなかで1番、ライバル企業のなかで1番最初に進出すると、販売価格を上げることができるということを明らかにする。

さらに、日中合弁企業は取引上のエクスポージャー、すなわち獅驍二、販売価格を上げることができるということを明らかにする。さらに、日中合弁企業は取引上のエクスポージャー、すなわち取引条件が外国通貨建てで表示されている取引から発生する為替差損を回避するために、現地通貨建ての借入を優先することを明らかにする。研究方冥地通貨建ての借入を優先することを明らかにする。研究方餅建ての借入を優先することを明らかにする。研究方法は、アンケート調査による事実をもとに分析をする実証研究を採用する。